

三重県経済の動向（2023 年 11 月） No. 554

【現在の景気】 持ち直しの動きがみられる （※8月～10月の指標より（一部除く））

個人消費、設備投資は持ち直しが続き、生産も半導体不足の緩和等の影響により、自動車関連など一部で持ち直しの動き。

<当月のポイント>

- ・生産指数（9月）は前月比3か月ぶりの上昇。輸送機械は4か月連続の上昇。電子も上昇。
- ・常用雇用指数（8月）は前年比12か月連続の上昇。有効求人倍率（9月）は4か月連続で全国下回る。求人サイトの求人情報数は上昇率が鈍化。所定内給与額（8月）は6か月連続の増加。
- ・百貨店・スーパー（全店）、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター販売（9月）、乗用車新車販売（10月）は前年比増加が続く。消費者物価指数（10月）は前年比上昇幅が縮小。

【当面の見通し】 下振れリスクはあるものの、緩やかに持ち直しに向かう

個人消費は、物価高の影響はあるものの、社会経済活動が正常化に向かう中、持ち直しの動きが続く。生産については、部材供給制約や原材料価格高騰などの影響が緩和に向かう。海外景気の下振れリスクはあるが、総じて緩やかに持ち直しに向かう見通し。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 （総合判断）	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	—
1. 景気動向指数 ／企業の景況感	悪化／持ち直しの動きがみられる	悪化／持ち直しの動きがみられる	悪化／持ち直しの動きがみられる	→	2
2. 生産	一部で持ち直しの動きがみられる	一部で持ち直しの動きがみられる	一部で持ち直しの動きがみられる	→	3
3. 輸出	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	3
4. 設備投資	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	4
5. 企業倒産	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	→	4
6. 雇用	持ち直している	持ち直している	持ち直しの動きが鈍化	↘	5
7. 賃金	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	6
8. 個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	6
9. 住宅投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	7
10. 公共投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所

コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 景気動向指数

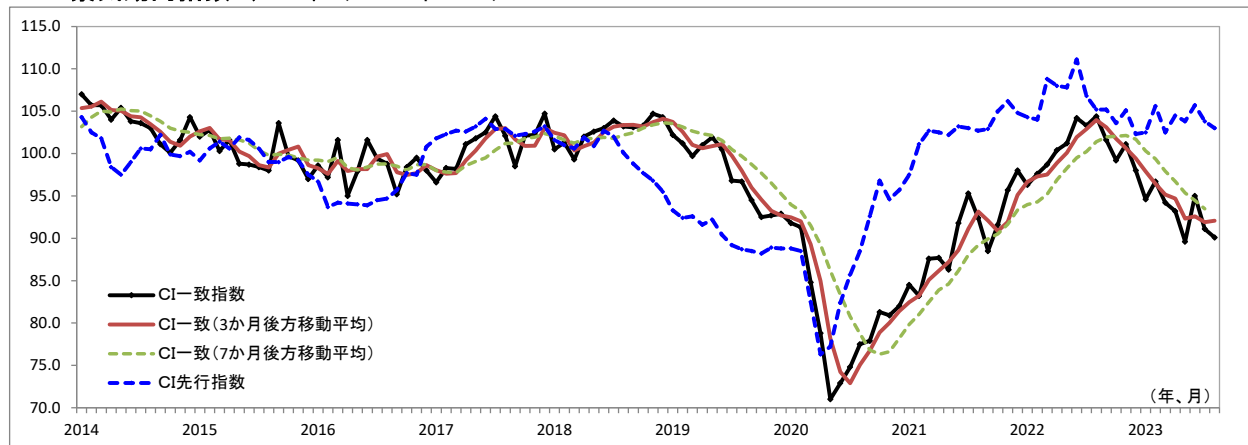
【現状】＜悪化＞

○8月の景気動向指数（C I）一致指数は、90.1で前月差 $\Delta 1.0$ ポイント。3か月後方移動平均（+0.17ポイント）は2か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均（ $\Delta 0.65$ ポイント）は9か月連続の下降となり、「悪化」を示している。

【見通し】

○8月の景気動向指数（C I）先行指数は、103.0で前月差 $\Delta 0.8$ ポイント。3か月後方移動平均（ $\Delta 0.26$ ポイント）は2か月連続の下降、7か月後方移動平均（+0.07ポイント）は4か月連続の上昇となった。

■景気動向指数（C I）（2015年=100）



※上記の「CIを用いた基調判断」は三重県が内閣府の判断基準に準じて行った判断。

※「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

資料：三重県「三重県景気動向指数（C I）」

(2) 県内企業の景況感

前月より
更新なし

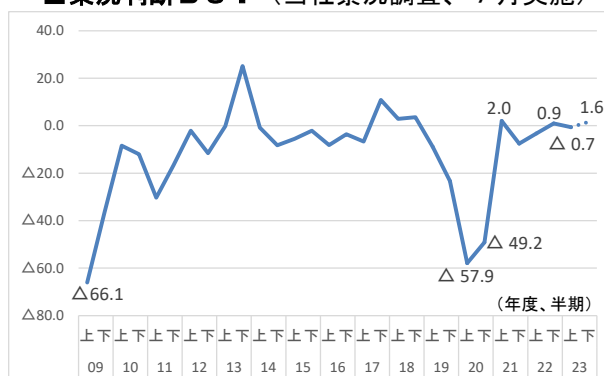
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○当社景況調査（半期）では、23年度上期の業況判断BSIは $\Delta 0.7$ と、わずかなマイナスもほぼ横ばい。
○法人企業景気予測調査（四半期）では、23年7-9月期の景況判断BSIは $\Delta 0.9$ ポイントの「下降」超で、「下降」超幅は縮小した。

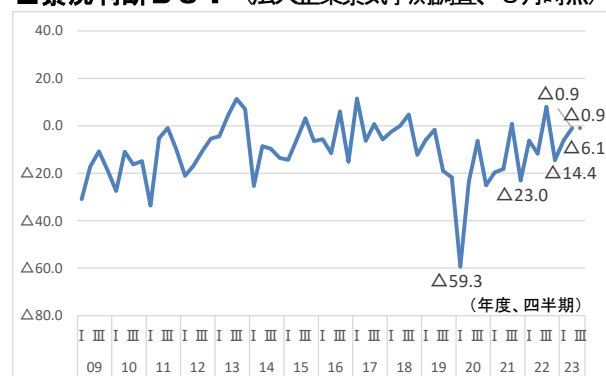
【見通し】

○当社景況調査の23年度下期（見通し）の業況判断BSIは+1.6と、ややプラスに転じる見通し。
○法人企業景気予測調査の23年10-12月期（見通し）の景況判断BSIは $\Delta 0.9$ ポイントの「下降」超で推移する見通し。

■業況判断BSI（当社景況調査、7月実施）



■景況判断BSI（法人企業景気予測調査、8月時点）



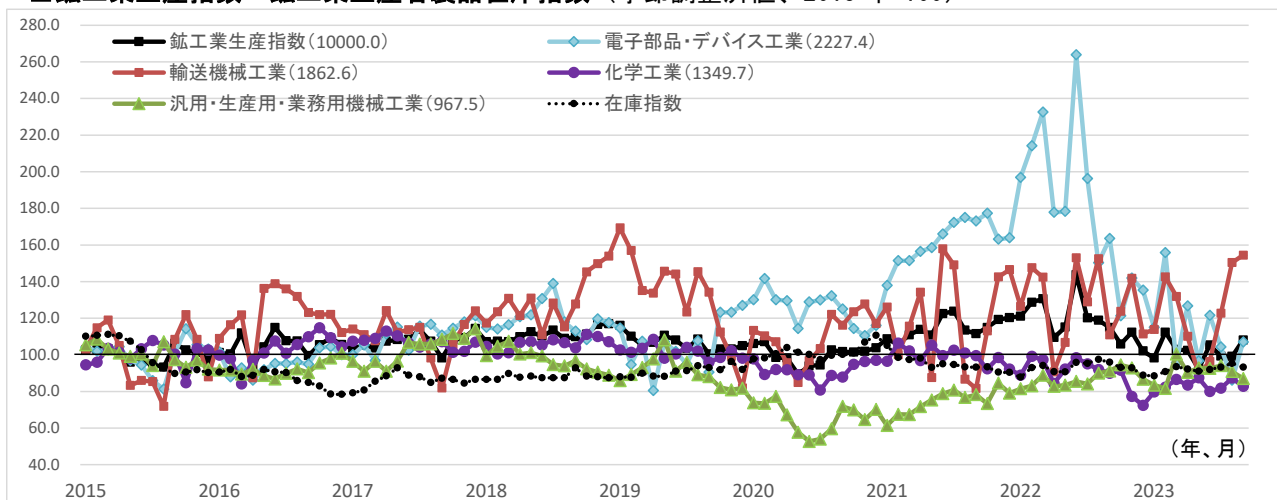
資料：当社「景況調査」（23年7月、450社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（23年8月、115社）

2. 生産

【現状】＜一部で持ち直しの動きがみられる＞

- 9月の鉱工業生産指数（季調済）は108.1で、前月比+9.1%と3か月ぶりの上昇、原数値は107.6で前年比△8.2%と12か月連続の低下となった。
- 生産指数を業種別にみると、輸送機械は、前年比+34.5%と5か月ぶりの上昇、前月比も4か月連続で上昇した。電子部品・デバイスは、前年比は△37.6%と14か月連続で低下したが、前月比は+24.1%と3か月ぶりに上昇した。汎用・生産用・業務用機械は、前年比7か月ぶりの低下、前月比も2か月連続で低下した。化学は前年比、前月比ともに低下した。輸送機械では、ホンダ鈴鹿製作所の稼働率が、3～9月は通常稼働で推移。当社景況調査（7月実施）では、半導体不足の緩和等で自動車関連生産が持ち直し傾向。電子部品・デバイスでは、キオクシアが、需要減により、昨年10月から当面の間フラッシュメモリの生産を調整。

■鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2015年=100）



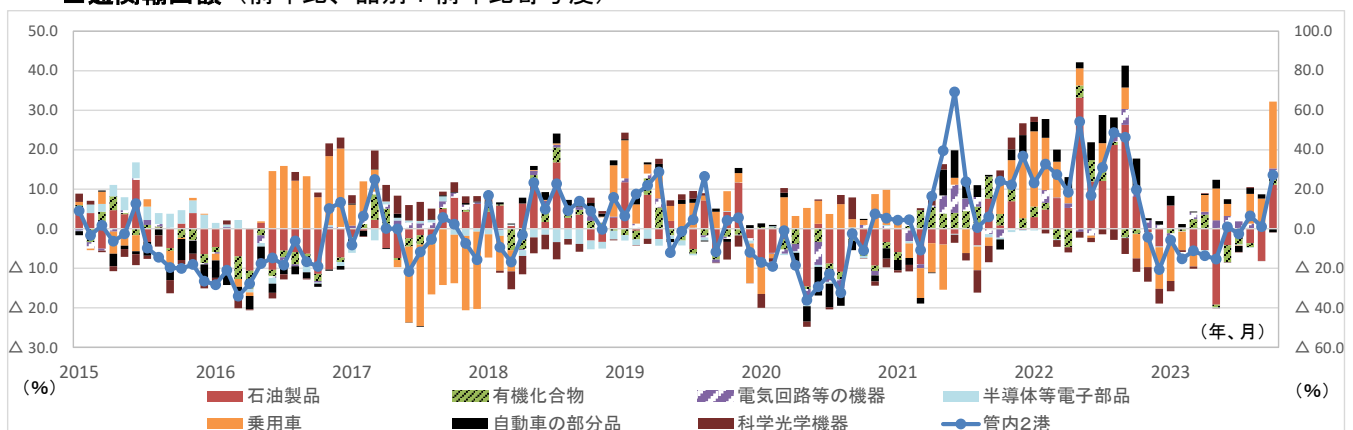
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

- 10月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比+27.2%と3か月連続の増加、主要港である四日市港は+26.9%と3か月連続の増加となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、映像機器、自動車の部分品、プラスチックなどが減少したものの、乗用車、石油製品、有機化合物、電気回路等の機器などが増加に寄与した。

■通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。

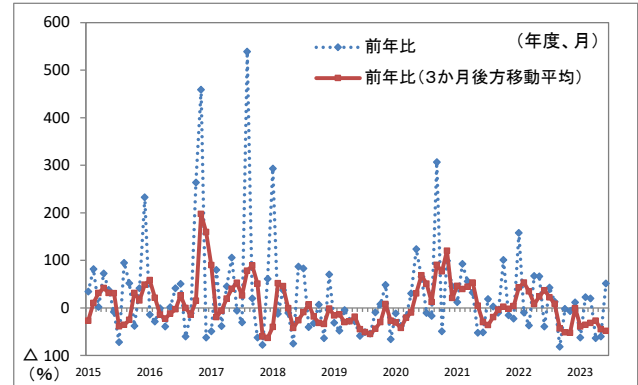
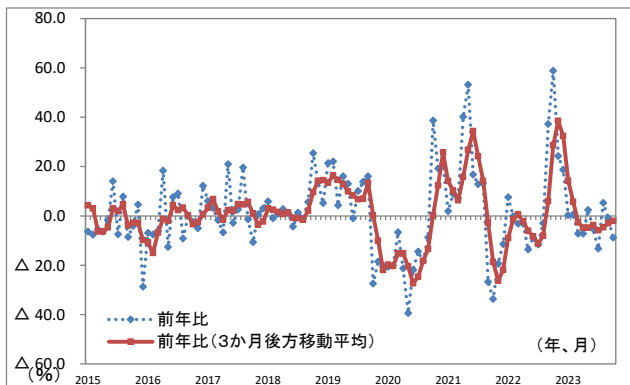
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

【現状】＜持ち直している＞

- 10月の貨物車新車登録・販売台数（普通＋小型＋軽）は前年比△8.8%となり、2か月連続の減少となった。普通貨物（△35.6%）は6か月ぶりの減少、軽貨物（△13.9%）は5か月連続の減少となったが、小型貨物（+27.5%）は3か月連続の増加となった。
- 9月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比＋51.5%と3か月ぶりの増加となった。
- 6月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比2か月ぶりの低下となった。
- 当社景況調査（7月実施）では、23年度上期の設備投資実施（見込み）企業割合は46.4%と、コロナ感染拡大前の19年度下期（44.7%）を3期連続で上回った。法人企業景気予測調査（8月実施）では、23年度投資額は前年度比＋52.1%の増加見込み。

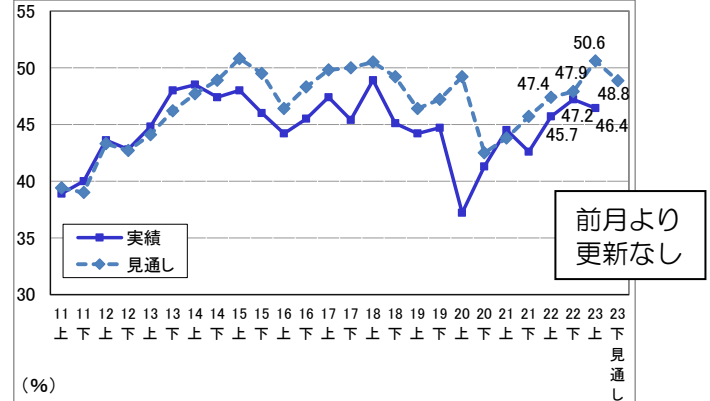
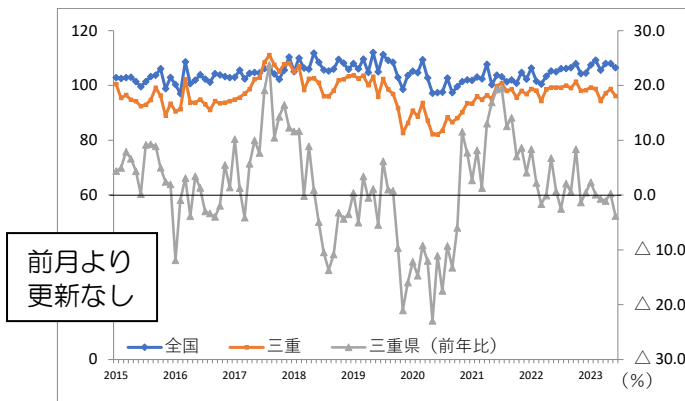
■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比） ■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）



※資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会／国土交通省「建築物着工統計」

■地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値）

■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。

※資料：内閣府「地域別支出総合指数」／当社「景況調査」（投資額 500 万円以上）

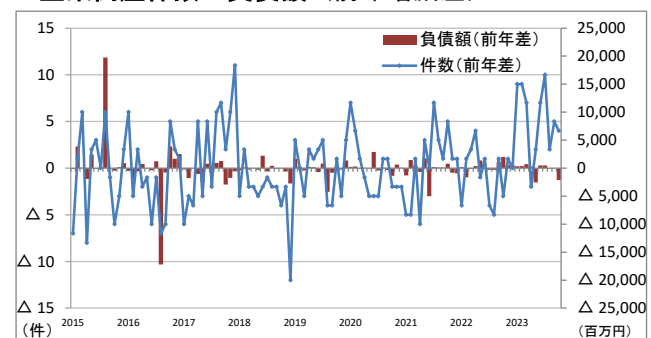
5. 企業倒産

【現状】＜増加の動きがみられる＞

- 10月の企業倒産件数は13件（前年差＋4件）、負債額は11億27百万円（前年差△21億2百万円）となった。23年1月からの累計では、件数は10か月連続の増加、負債額は4か月ぶりの減少となった。

※負債額 1,000 万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額（前年増減差）

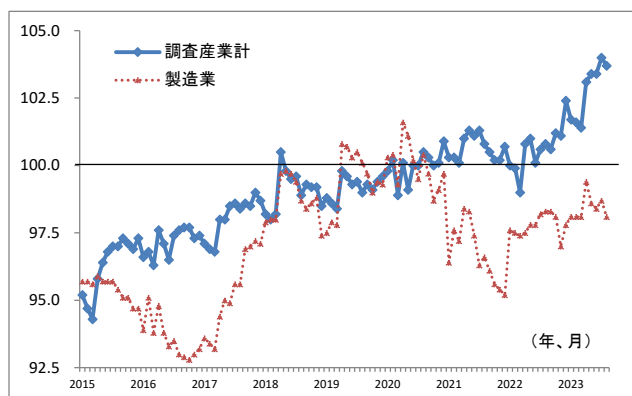


6. 雇用

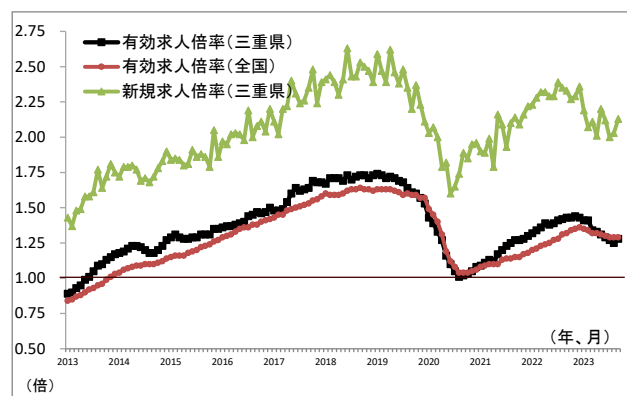
【現状】＜持ち直しの動きが鈍化＞

- 8月の常用雇用指数は103.7で、前年比+2.9%となり、12か月連続の上昇となった。製造業は98.1で前年比△0.2%となり、15か月ぶりの低下となった。
- 9月の有効求人倍率（季調済）は1.28倍で、前月比+0.03ポイントとなったが、4か月連続で全国を下回った。有効求人数（原数値）は前年比△8.3%で7か月連続の減少、有効求職者数（原数値）は+3.3%で4か月連続の増加となった。
- 9月の新規求人数（原数値）を産業別にみると、建設業と宿泊業、飲食サービス業は前年比4か月連続の減少、運輸業、郵便業と卸売業、小売業は2か月連続の減少、製造業は7か月連続の減少、医療、福祉は3か月連続の減少となったが、サービス業（他に分類されないもの）は9か月ぶりの増加となった。
- 雇用保険の基本手当受給者実人員（9月）は、前年比+8.4%で6か月連続の増加となった。
- 当社景況調査（7月実施）では、人員の過不足感は+49.6と、コロナ禍前（20年1月）を超える「不足」超となった。法人企業景況予測調査（8月実施）でも、「不足気味」超幅は拡大した。
- 民間及びハローワークのweb求人情報サイトにおける求人情報数（総務省、10月）は、2019年比で上昇しているものの、このところ上昇率は鈍化している。

■常用雇用指数（2020年=100）



■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）

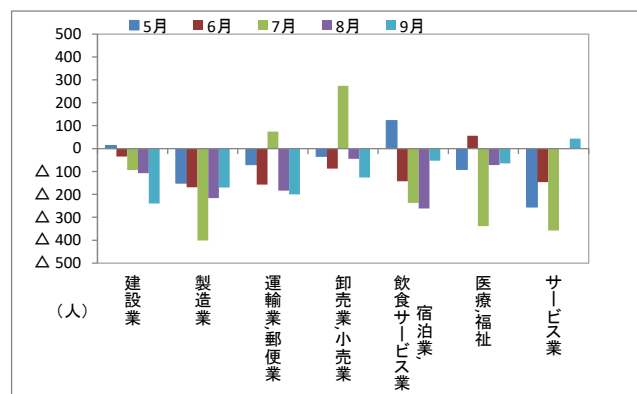


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員＋パートタイム労働者）を指数化したもの

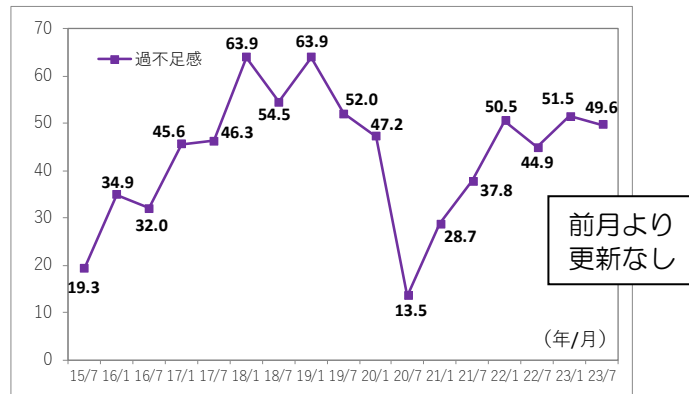
※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。

資料：三重県「毎月勤労統計調査」、三重労働局「一般職業紹介状況」

■新規求人数（主要産業別）（原数値、前年増減差）



■人員の過不足感（不足割合－過剰割合）



※新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。

※サービス業は他に分類されないもの

※人員の過不足感＝（「不足」＋「やや不足」の割合）－（「過剰」＋「やや過剰」の割合）

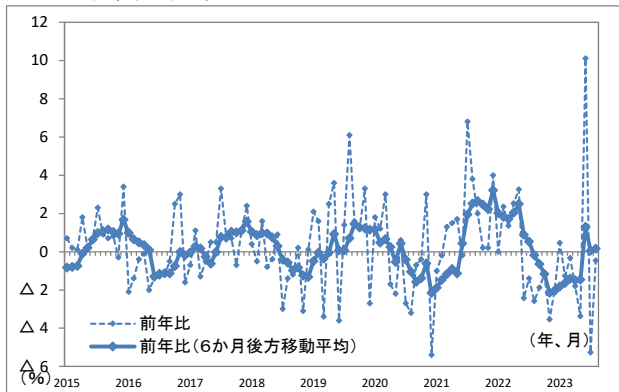
資料：三重労働局「一般職業紹介状況」、当社「景況調査」（1月、7月、5月（簡易調査））

7. 賃金

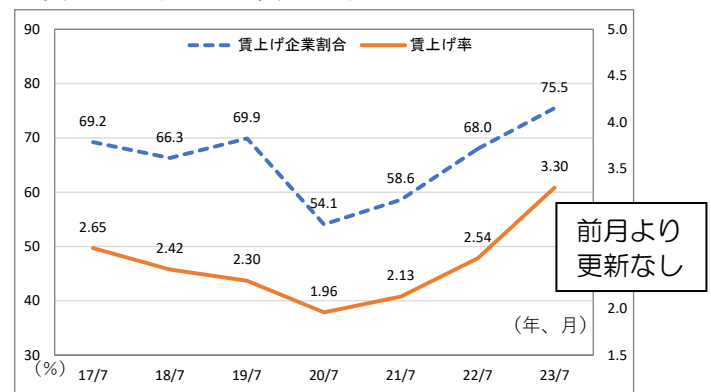
【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

- 8月の名目賃金指数（現金給与総額）は、前年比 $\Delta 0.5\%$ と2か月連続の低下となったが、うち所定内給与（実額）は6か月連続で前年比増加した。
- 当社景況調査（7月実施）では、23年4月以降に賃金を「引き上げた」は75.5%と、前年を7.5ポイント上回った。賃上げ率は回答平均で3.30%と、17年の調査開始以降で初めて3%を超えた。

■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



■賃上げ企業割合・賃上げ率（7月時点）



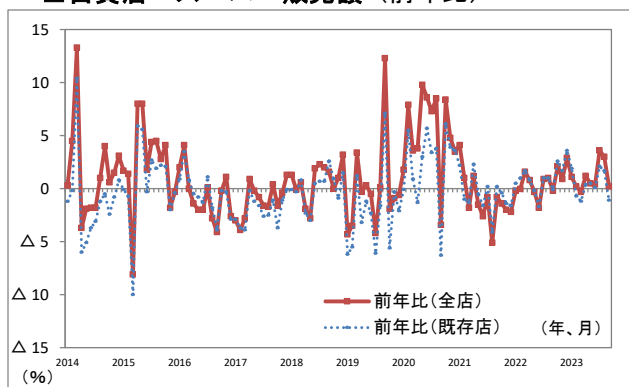
※事業所規模5人以上、2020年=100。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。
 ※賃上げ企業割合は、当年4月以降に、賞与等を含む賃金を引き上げた企業の割合。賃上げ率は改定前比。
 資料：三重県「毎月勤労統計調査」、当社「景況調査」（各年7月実施分）

8. 個人消費

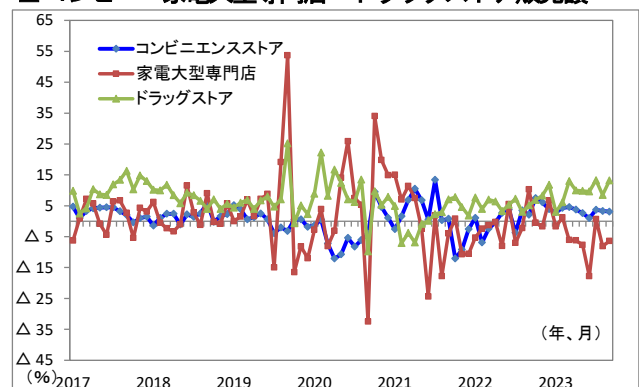
【現状】＜持ち直している＞

- 9月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比+0.2%）は6か月連続の増加となったが、既存店（ $\Delta 1.1\%$ ）は6か月ぶりの減少となった。
- 9月のコンビニエンスストア販売額（+3.1%）は前年比14か月連続の増加、ドラッグストア販売額（+13.2%）は28か月連続の増加、ホームセンター販売額（+4.2%）は3か月連続の増加となったが、家電大型専門店販売額（ $\Delta 6.4\%$ ）は2か月連続の減少となった。
- 10月の乗用車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）（+13.3%）は前年比14か月連続の増加となった。普通（+32.6%）は10か月連続の増加、軽（+12.2%）は3か月連続の増加となったが、小型（ $\Delta 13.0\%$ ）は2か月連続の減少となった。
- 9月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（+13.1%）は前年比2か月連続の増加となった。
- 10月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、津市）は、前年比は+2.0%と21か月連続の上昇も上昇幅は縮小した。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）

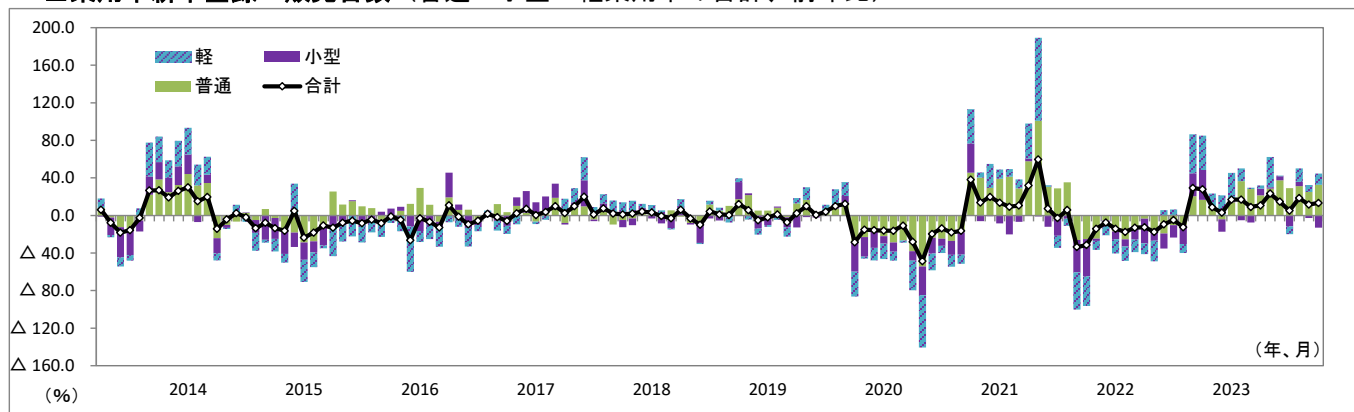


■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額

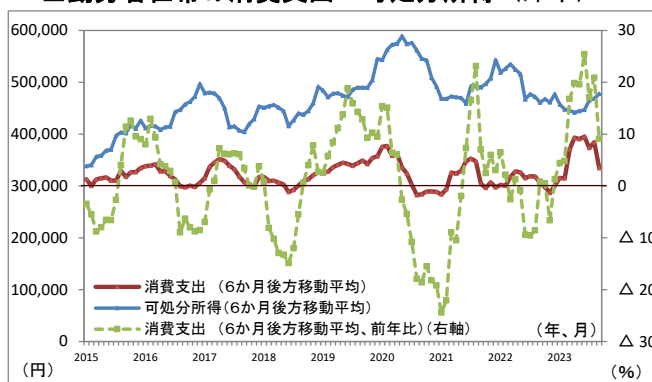


※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動（開店、廃業）があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。
 資料：経済産業省「商業動態統計」

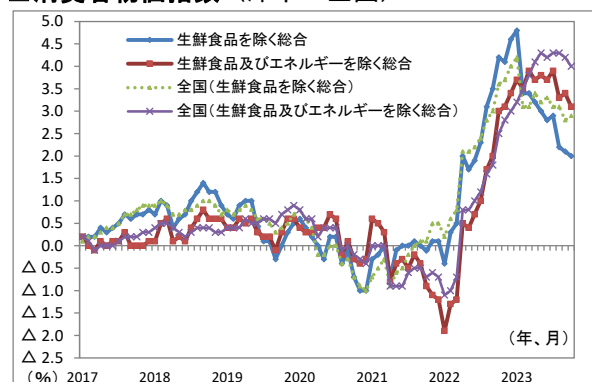
■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）



■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国）

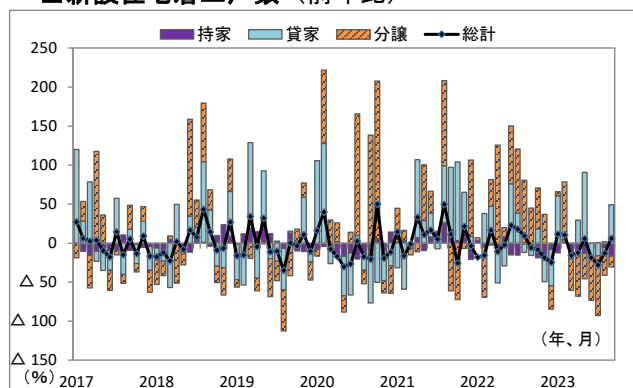


9. 住宅投資

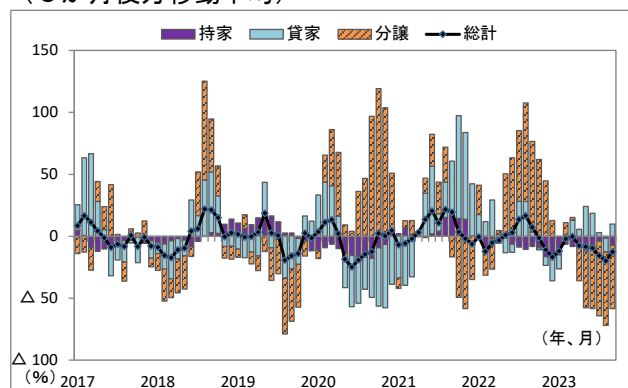
【現状】＜足踏み＞

○9月の新設住宅着工戸数は、前年比+6.0%で4か月ぶりの増加、3か月後方移動平均では12か月連続の減少となった。持家（△16.6%）は前年比2か月連続の減少、分譲（△14.0%）は7か月連続の減少となったが、貸家（+49.1%）は2か月連続の増加となった。床面積（△4.7%）は7か月連続の減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

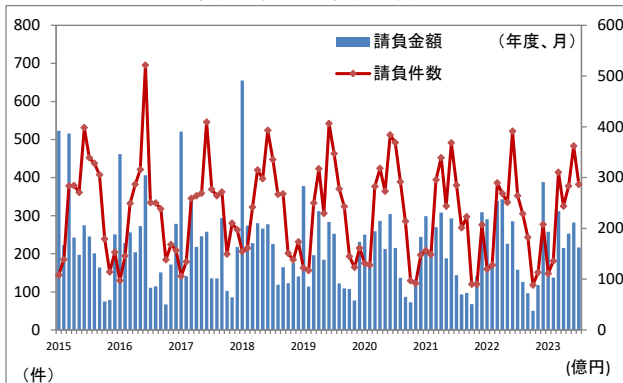
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

10. 公共投資

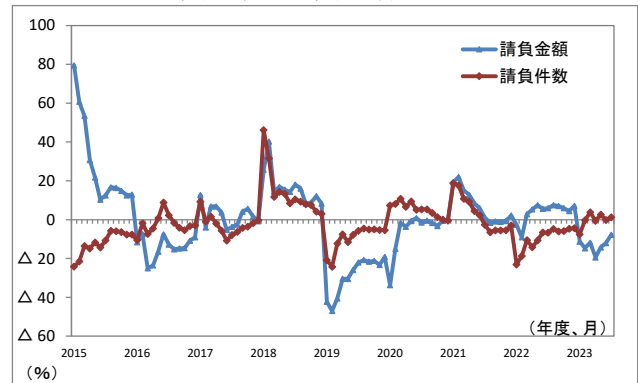
【現状】＜足踏み＞

- 10月の公共工事請負件数は前年比+8.5%の増加、請負金額は+36.8%の増加となった。請負金額は年度累計（23年4月～10月）では7か月連続の減少となった。
- 年度累計の請負金額について、発注者別にみると、国土交通省（+9.2%）、町（+16.2%）、県農林水産部（+4.0%）などは増加したが、港管理組合（△71.2%）、県県土整備部（△9.4%）、中日本高速道路㈱（△20.8%）などが減少した。工事場所別では、いなべ市、亀山市、名張市などは増加したが、四日市市、津市、鈴鹿市などでは減少した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）

※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他

資料：東日本建設業保証㈱

＜トピックス＞

- ◆ 三重県は10月26日、6月16日～6月18日にかけて志摩市で開催されたG7三重・伊勢志摩交通大臣会合に関する経済効果について、約98億3,228万円と推計したと発表。内訳については、国、三重県、志摩市の関連事業費より算出した経済波及効果が約8億6,823万円、テレビや新聞等の掲載件数を広告料金に換算したパブリシティ効果が約89億6,405万円としている。
- ◆ 工作機械メーカーのDMG森精機㈱（東京）は11月6日、伊賀市のJR関西本線新堂駅前に複合施設「SHINDO YARDS」を開設。同施設には、図書館、伊賀市伊賀支所、信用金庫が入居し、同社と伊賀市が共同で運営する図書館「BOOKMARK STORAGE」には、2万冊の図書を揃える。同施設整備は、地域社会貢献活動の一環として同社伊賀事業所の最寄り駅周辺地域の景観を整備し、より魅力ある街とするため取り組まれた。建物面積は2階建て2棟、1,650㎡。総事業費は約10億円。
- ◆ 三重県は11月17日～11月30日までの14日間、2025年大阪・関西万博に向けて、関西圏における効果的なPR方法を検証するため、大阪・道頓堀に期間限定の情報発信拠点「三重テラス in 大阪」を設置し、「食」や「観光」など三重県の魅力を発信する。同拠点では、県産食材を使用したメニューや県産品の販売、食体験や文化体験のイベントが行われる。2024年1月には大阪・梅田でも期間限定で実施予定。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2015年=100)		景気動向指数C I (一致) (2015年=100)		業況判断BS1 (年度半期)			景況判断BS1 (年度四半期)	鉱工業生産指数 (2015年=100)		鉱工業在庫指数 (2015年=100)	
	前月差		前月差		製造業	非製造業			*1 *2	前月比	*1 *2	前月比
2020年	—	—	—	—					100.0	△ 6.2	101.4	11.6
2021年	—	—	—	—					114.8	14.9	95.3	△ 6.1
2022年	—	—	—	—					118.5	3.2	92.9	△ 2.5
22年 1月	104.3	△ 0.5	96.3	△ 1.7	△ 7.5	2.6	△ 13.2	△ 23.0	121.1	0.7	87.8	△ 2.9
2月	104.0	△ 0.3	97.6	1.3					128.6	6.2	93.0	5.9
3月	108.8	4.8	98.7	1.1					130.6	1.6	94.2	1.3
4月	108.0	△ 0.8	100.4	1.7				△ 6.2	109.4	△ 16.2	90.8	△ 3.6
5月	107.8	△ 0.2	101.2	0.8					115.1	5.2	90.7	△ 0.1
6月	111.1	3.3	104.2	3.0	△ 3.3	△ 12.9	2.7		143.7	24.8	95.8	5.6
7月	106.8	△ 4.3	103.3	△ 0.9				△ 11.7	120.1	△ 16.4	95.3	△ 0.5
8月	105.2	△ 1.6	104.4	1.1					118.9	△ 1.0	97.5	2.3
9月	105.2	0.0	101.6	△ 2.8					114.9	△ 3.4	95.9	△ 1.6
10月	103.6	△ 1.6	99.2	△ 2.4				8.0	105.9	△ 7.8	93.1	△ 2.9
11月	105.1	1.5	101.1	1.9					112.3	6.0	92.9	△ 0.2
12月	102.3	△ 2.8	98.0	△ 3.1	0.9	△ 7.7	7.4		102.1	△ 9.1	88.8	△ 4.4
23年 1月	102.5	0.2	94.6	△ 3.4				△ 14.4	98.3	△ 3.7	88.5	△ 0.3
2月	105.6	3.1	96.7	2.1					112.3	14.2	90.8	2.6
3月	102.5	△ 3.1	94.2	△ 2.5					102.9	△ 8.4	93.5	3.0
4月	104.5	2.0	93.2	△ 1.0				△ 6.1	102.4	△ 0.5	92.2	△ 1.4
5月	103.8	△ 0.7	89.6	△ 3.6					92.3	△ 9.9	91.1	△ 1.2
6月	105.7	1.9	95.0	5.4	△ 0.7	△ 2.3	2.4		105.3	14.1	92.0	1.0
7月	103.8	△ 1.9	91.1	△ 3.9				△ 0.9	99.3	△ 5.7	93.3	1.4
8月	103.0	△ 0.8	90.1	△ 1.0					99.1	△ 0.2	95.3	2.1
9月	—	—	—	—					108.1	9.1	93.3	△ 2.1
10月	—	—	—	—	1.6	7.5	△ 1.6	△ 0.9	—	—	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				株式会社百五総合研究所			津財務事務所	三重県政策企画部統計課			

	輸 出 (億円)		輸 入 (億円)		貨物車販売				非居住用建築物 着工床面積		企業倒産 *4	
	*3	前年比	*3	前年比	普通+小型(新車登録台数)	軽(新車販売台数)			(㎡)	前年比	件数 (件)	負債額 (百万円)
2020年	7,723	△ 14.9	11,463	△ 30.9	5,162	△ 14.8	8,107	△ 5.7	773,702	24.4	66	14,125
2021年	9,094	17.8	16,061	40.1	5,406	4.7	8,064	△ 0.5	782,678	1.2	72	10,192
2022年	11,034	21.3	26,500	65.0	5,222	△ 3.4	9,111	13.0	786,825	0.5	65	13,716
22年 1月	836	23.2	1,629	60.4	411	20.5	688	1.0	53,536	101.1	2	860
2月	865	32.7	1,946	52.4	404	△ 16.5	838	10.3	62,322	△ 15.4	5	670
3月	940	27.4	1,742	38.2	609	△ 8.3	953	0.4	35,592	△ 22.3	7	538
4月	898	18.5	2,282	78.3	421	△ 5.4	737	△ 1.9	164,841	157.9	5	541
5月	939	54.2	2,153	94.5	375	2.5	531	△ 22.3	46,444	△ 9.9	5	3,542
6月	939	16.9	2,141	126.8	457	△ 4.4	624	△ 12.0	49,353	△ 36.7	5	168
7月	962	31.0	2,340	125.9	367	△ 23.9	725	△ 3.7	125,027	67.3	6	417
8月	903	48.6	2,986	79.5	339	△ 26.5	680	15.4	57,558	66.5	2	277
9月	1,040	46.3	2,682	76.7	447	△ 9.5	914	83.5	25,917	△ 39.2	6	1,285
10月	1,000	19.7	2,230	70.0	435	13.3	877	98.4	76,852	42.7	9	3,229
11月	886	△ 4.3	2,002	18.1	466	10.4	897	32.9	54,709	13.0	6	774
12月	828	△ 20.6	2,364	21.3	491	27.5	647	12.7	34,674	△ 81.7	7	1,415
23年 1月	787	△ 5.8	2,180	33.8	347	△ 15.6	755	9.7	52,591	△ 1.8	11	1,210
2月	733	△ 15.2	2,106	8.2	454	12.4	795	△ 5.1	58,219	△ 6.6	14	1,045
3月	835	△ 11.2	2,284	31.1	558	△ 8.4	892	△ 6.4	39,758	11.7	14	1,235
4月	775	△ 13.6	2,024	△ 11.3	322	△ 23.5	753	2.2	62,491	△ 62.1	3	832
5月	795	△ 15.3	1,637	△ 24.0	346	△ 7.7	582	9.6	56,953	22.6	7	980
6月	948	1.0	1,731	△ 19.2	466	2.0	557	△ 10.7	59,112	19.8	12	662
7月	937	△ 2.6	1,668	△ 28.7	394	7.4	553	△ 23.7	45,619	△ 63.5	16	916
8月	961	6.4	1,939	△ 35.1	429	26.5	644	△ 5.3	23,042	△ 60.0	4	150
9月	1,051	1.1	1,986	△ 25.9	569	27.3	779	△ 14.8	39,258	51.5	11	1,282
10月	1,272	27.2	2,104	△ 5.4	441	1.4	755	△ 13.9	—	—	13	1,127
資料出所	四日市税関支署(四日市港、津港の合計)				三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		国土交通省		株式会社東京商工リサーチ	

	常用雇用指数 *5				有効						新規求人 倍率	名目賃金指数 *5	
	調査産業計		製造業		求人倍率	求人数		求職者数		(現金給与と総額)		前年比 *11	
	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比		*1*2 (倍)	*6 (人)	前年比	*6 (人)				前年比
2020年	100.0	0.8	100.0	0.6	1.16	28,953	△ 23.4	24,984	9.5	1.87	100.0	△ 1.0	
2021年	100.7	0.7	96.7	△ 3.3	1.20	30,173	4.2	25,133	0.6	2.02	101.9	1.9	
2022年	100.6	△ 0.1	97.8	1.1	1.39	34,157	13.2	24,514	△ 2.5	2.30	101.2	△ 0.7	
22年 1月	100.0	△ 0.3	97.6	1.2	1.32	34,213	19.1	23,824	△ 1.8	2.23	85.9	0.0	
2月	99.9	△ 0.4	97.5	△ 0.1	1.34	34,788	18.7	24,481	△ 1.5	2.28	86.8	2.4	
3月	99.0	△ 1.1	97.4	0.2	1.36	35,883	16.7	25,740	△ 2.5	2.32	89.9	1.4	
4月	100.8	△ 0.2	97.5	△ 0.9	1.39	34,436	18.8	26,329	△ 4.5	2.32	89.1	2.5	
5月	101.0	△ 0.3	97.8	△ 0.5	1.38	33,347	15.6	26,439	△ 1.7	2.29	88.8	3.3	
6月	100.1	△ 1.0	97.8	0.4	1.39	33,493	16.1	25,728	△ 1.3	2.29	128.6	△ 2.4	
7月	100.6	△ 0.7	98.2	2.0	1.41	32,985	13.0	24,083	△ 1.6	2.39	127.3	△ 1.4	
8月	100.8	0.0	98.3	1.8	1.42	33,316	11.0	23,866	△ 2.0	2.35	86.9	△ 2.6	
9月	100.6	0.1	98.3	2.3	1.43	33,985	12.5	23,899	△ 0.4	2.33	83.8	△ 1.9	
10月	101.2	1.0	98.1	2.6	1.43	34,699	10.3	24,251	△ 2.1	2.27	85.0	△ 1.2	
11月	101.1	0.9	97.0	1.7	1.44	35,012	6.5	23,561	△ 3.8	2.29	90.1	△ 3.5	
12月	102.4	1.7	97.8	2.7	1.43	33,732	2.5	21,966	△ 6.4	2.36	172.4	△ 1.9	
23年 1月	101.7	1.7	98.1	0.5	1.41	33,876	△ 1.0	22,151	△ 7.0	2.19	86.3	0.5	
2月	101.6	1.7	98.1	0.6	1.41	34,944	0.4	23,590	△ 3.6	2.07	85.7	△ 1.3	
3月	101.4	2.4	98.1	0.7	1.34	34,777	△ 3.1	24,999	△ 2.9	2.11	89.6	△ 0.3	
4月	103.1	2.3	99.4	1.9	1.33	32,451	△ 5.8	25,841	△ 1.9	2.01	87.5	△ 1.8	
5月	103.4	2.4	98.6	0.8	1.31	31,261	△ 6.3	26,234	△ 0.8	2.20	85.8	△ 3.4	
6月	103.4	3.3	98.4	0.6	1.29	31,290	△ 6.6	26,038	1.2	2.12	141.6	10.1	
7月	104.0	3.4	98.7	0.5	1.27	30,970	△ 6.1	25,025	3.9	2.00	120.6	△ 5.3	
8月	103.7	2.9	98.1	△ 0.2	1.25	30,716	△ 7.8	24,769	3.8	2.03	86.5	△ 0.5	
9月	—	—	—	—	1.28	31,168	△ 8.3	24,690	3.3	2.13	—	—	
10月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
資料出所	三重県政策企画部統計課				三重労働局職業安定課								

*1：月別の数値は季節調整済値 *2：年数値については原指数、前年比 *3：2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。

*4：負債額1千万円以上 *5：事業所規模5人以上 *6：年数値は年間の月平均 *7：既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所

*8：前年(度、同期、同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している

*9：「家計調査」により津市において調査した世帯(単身者世帯を除く)の1か月間の家計消費の状況(平均)。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。

*10：官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8	前年比	普通＋小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11	(百万円)	(既存店)	(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2020年	100.0	△ 13.6	100.0	△ 25.5	303,980	2.3	44,665	△ 12.7	29,265	△ 9.7	306,464	△ 12.5
2021年	108.6	8.6	119.9	19.8	306,526	△ 0.7	45,510	1.9	28,713	△ 1.9	322,726	5.3
2022年	109.1	0.5	124.9	4.2	—	1.0	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	308,219	△ 4.5
22年 1月	111.5	12.3	126.5	15.4	26,490	0.5	3,486	△ 13.8	2,256	△ 14.9	312,257	22.5
2月	114.4	7.7	134.1	7.5	23,796	1.0	3,727	△ 18.9	2,657	△ 15.3	285,631	△ 12.4
3月	121.2	9.2	135.6	8.7	24,895	1.7	5,488	△ 12.6	3,459	△ 13.4	348,408	△ 31.4
4月	118.3	7.6	131.8	11.9	24,565	0.8	2,936	△ 13.2	2,171	△ 11.6	344,361	5.5
5月	105.8	5.5	115.9	7.3	25,510	△ 0.2	2,660	△ 14.3	1,640	△ 22.1	342,444	18.3
6月	107.7	2.5	121.2	3.5	24,953	△ 1.7	3,089	△ 18.0	2,306	5.6	258,161	△ 32.6
7月	104.8	△ 6.3	124.2	△ 1.0	25,820	1.0	3,418	△ 11.4	2,368	6.3	334,962	18.1
8月	101.9	△ 4.9	122.7	7.6	26,233	1.0	2,868	△ 14.3	1,835	△ 9.4	280,685	△ 5.5
9月	101.9	△ 3.0	117.4	5.1	24,733	△ 0.1	3,797	21.9	2,603	41.7	279,377	14.0
10月	108.7	△ 0.3	120.5	5.7	25,538	2.6	3,497	22.4	2,432	36.6	292,834	4.1
11月	106.7	△ 9.3	127.3	△ 4.8	25,419	1.7	3,704	5.9	2,559	13.0	274,290	△ 22.2
12月	106.7	△ 11.5	122.0	△ 11.2	30,676	3.6	3,389	△ 7.4	2,494	21.4	345,222	5.9
23年 1月	106.7	△ 4.3	109.8	△ 13.2	26,787	1.9	3,813	9.4	2,905	28.8	421,638	35.0
2月	97.1	△ 15.1	118.2	△ 11.9	23,849	△ 0.7	4,438	19.1	3,018	13.6	276,418	△ 3.2
3月	103.8	△ 14.4	110.6	△ 18.4	24,812	△ 1.2	6,247	13.8	3,509	1.4	615,722	76.7
4月	100.0	△ 15.5	109.8	△ 16.7	24,862	0.4	3,411	16.2	2,246	3.5	426,728	23.9
5月	91.3	△ 13.7	102.3	△ 11.7	25,641	0.5	3,136	17.9	2,168	32.2	257,310	△ 24.9
6月	94.2	△ 12.5	109.8	△ 9.4	25,048	0.1	3,863	25.1	2,321	0.7	373,956	44.9
7月	95.2	△ 9.2	113.6	△ 8.5	26,755	2.1	3,909	14.4	2,174	△ 8.2	290,877	△ 13.2
8月	88.5	△ 13.2	108.3	△ 11.7	27,010	1.7	3,476	21.2	2,097	14.3	343,250	22.3
9月	—	—	—	—	24,778	△ 1.1	4,341	14.3	2,798	7.5	315,999	13.1
10月	—	—	—	—	—	—	3,991	14.1	2,728	12.2	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)	
	前年比		*10	前年度比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比
2020年	9,558	△ 5.9	1,777	0.1	100.0	△ 0.2	100.0	0.1
2021年	10,203	6.7	1,815	2.2	99.9	△ 0.1	99.6	△ 0.4
2022年	9,912	△ 2.9	1,945	7.1	102.2	2.3	100.6	0.9
22年 1月	669	△ 17.9	51	△ 6.9	99.7	△ 0.4	98.7	△ 1.9
2月	640	△ 15.5	105	6.0	100.4	0.3	99.1	△ 1.3
3月	954	16.8	232	26.8	100.9	0.5	99.3	△ 1.2
4月	824	△ 10.7	218	△ 2.6	101.6	2.0	100.1	0.5
5月	727	△ 2.2	130	△ 18.1	101.6	1.7	100.0	0.4
6月	1,029	22.8	254	25.4	101.9	1.9	100.3	0.7
7月	1,041	17.9	257	11.4	102.4	2.3	100.8	1.0
8月	1,013	9.5	170	20.1	103.1	3.1	101.4	1.7
9月	857	△ 5.8	214	△ 2.5	103.2	3.5	101.3	2.0
10月	829	△ 8.2	119	9.6	103.8	4.2	101.8	3.0
11月	748	△ 18.6	95	35.3	103.9	4.1	102.0	3.1
12月	581	△ 24.5	72	△ 0.5	104.4	4.6	102.2	3.4
23年 1月	747	11.7	38	△ 25.8	104.5	4.8	102.3	3.7
2月	708	10.6	88	△ 16.2	103.8	3.4	102.5	3.5
3月	803	△ 15.8	291	25.5	104.3	3.4	103.1	3.9
4月	725	△ 12.0	193	△ 11.3	104.9	3.2	103.7	3.7
5月	768	5.6	103	△ 20.4	104.7	3.0	103.8	3.8
6月	839	△ 18.5	234	△ 7.9	104.7	2.8	104.0	3.7
7月	752	△ 27.8	161	△ 37.2	105.4	2.9	104.7	3.9
8月	883	△ 12.8	190	11.9	105.4	2.2	104.7	3.3
9月	908	6.0	211	△ 1.2	105.4	2.1	104.8	3.4
10月	—	—	162	36.8	105.8	2.0	105.0	3.1
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証㈱		総務省統計局			